

印西NEXUS実態調査アンケートの結果について

<印西NEXUS生徒向けアンケート結果>

①印西NEXUSの活動に満足しているか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常に満足である	37.5%	27.8%
やや満足である	34.4%	27.8%
どちらともいえない	12.5%	19.4%
やや不満である	12.5%	5.6%
非常に不満である	3.1%	19.4%

②指導者の質や専門性が上昇したか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常にそう思う	37.5%	33.3%
ややそう思う	31.2%	19.4%
どちらともいえない	18.8%	30.6%
あまりそう思わない	9.4%	0%
全くそう思わない	3.1%	16.7%

③印西NEXUSの活動で技能や技術が向上したか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常に向上した	28.1%	25.0%
やや向上した	28.1%	33.3%
どちらともいえない	31.2%	19.4%
あまり向上していない	9.4%	11.1%
全く向上していない	3.1%	11.1%

<印西NEXUS保護者向けアンケート結果>

①印西NEXUSの活動に満足しているか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常に満足である	15.1%	10.3%
やや満足である	32.1%	20.6%
どちらともいえない	26.4%	25.0%
やや不満である	18.9%	19.1%
非常に不満である	7.5%	25.0%

②指導者2名の指導体制について安心感があるか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常にそう思う	32.1%	23.5%
ややそう思う	37.7%	25.0%
どちらともいえない	18.9%	25.0%
あまりそう思わない	1.9%	17.6%
全くそう思わない	9.4%	8.8%

③全体説明会や個別説明会で地域クラブの事業を理解することができたか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常に向上した	11.3%	4.4%
やや向上した	50.9%	23.5%
どちらともいえない	26.4%	23.5%
あまり向上していない	9.4%	27.9%
全く向上していない	1.9%	20.6%

④家庭負担の軽減のためのユニフォームレンタル制度について

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
レンタル制度が良い	64.2%	29.4%
個人購入が良い	17.0%	45.6%
その他	18.9%	25.0%

⑤印西NEXUSの活動が受益者負担月額 3000 円想定に見合っているか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
現在の活動は月会費 3000 円が妥当	66.0%	66.2%
月会費の金額を上げて活動を充実させたい	11.3%	20.6%
月会費の金額を下げて活動を簡素化したい	22.6%	10.3%

■女子バレーボール

【Good：数値が高い理由】

○「専門性」への感動：順天堂大学の学生など、現役に近い指導者が「やって見せる（デモンストレーション）」指導を行う点に、生徒たちが強く惹かれている。「部活の顧問には教われない、具体的で論理的な技術を学べる」という納得感が、満足度 71.9%につながっている。

○「心理的安全性」の確保：威圧的・感情的な指導ではなく、ミスに対しても具体的に前向きなアドバイスが飛び交う環境が評価されています。「バレーがもっと好きになった」という声が多く、指導者の人間性が高く評価されている。

○拠点校方式の成功：他校の生徒とチームを組むことに不安があった生徒も、「新しい友達ができ」「上手な子と一緒にやることで刺激になる」と、交流をポジティブに捉えている。

【More：課題となっている点】

△レンタルユニフォームへの不信：4,000 円という金額に対し、サイズが小さすぎたり、拠点名の表記（ワッペンやシール）が雑であったりする点に不満が集中しています。

「この質なら自分で買ったほうがいい」という切実な声が出ている。

△学校部活動との「二重指導」：平日の学校の先生の教え方と、休日のクラブコーチの教え方が違うため、指導者間の連携を強化していく必要がある。

■軟式野球

【Good：数値が高い理由】

○「チーム消滅」からの救済：1 校では人数が足りず廃部寸前だった学校の生徒・保護者にとって、合同チーム化は唯一の希望だった。「試合に出られる環境を作ってくれた」ことへの感謝のコメントが見られた。

○プロ・専門家視点の指導：専門知識を持つコーチによるバッティングや守備の細かいフォームチェックが、「目から鱗」の体験として生徒の技能向上実感（肯定計 58.3%）に繋がっています。

【More：課題となっている点】

△大規模クラブの練習環境や練習時間の差：約 40 名という大人数に対し指導者が不足しており、「レギュラーは指導され、初心者は外野でボール拾い」という声が複数あった。「月会費（予定）を払って、練習機会がないのは、クラブに参加する必要がない」という極めて深刻な評価もあった。練習へのや試合に出場の機会を捻出するための工夫が必要である。

△拠点固定による負担の偏り：活動場所が特定の学校に固定されているため、遠方の保護者の送迎負担が軽減されず、「持ち回り」を強く求める声がある。

△内申・評価への不安：地域クラブでの活躍が「学校の成績（内申書）に反映されないのではないか」「表彰されないのではないか」という不安が、特に中学 1・2 年生の保護者の間で不安に思っている。→調査書へ印西NEXUSの活動を記載、モデル事業中は通知表への記載も各学校へ依頼している。

<印西NEXUS指導者向けアンケート結果>

①印西NEXUSでは指導計画や指導内容を自由に設定できるか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常にそう思う	7.7%	26.8%
ややそう思う	23.1%	0.0%
どちらともいえない	38.5%	28.6%
あまりそう思わない	30.8%	42.9%
全くそう思わない	0.0%	0.0%

②印西NEXUSの活動を通じて生徒の意欲やモチベーションが上昇しているか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常にそう思う	7.7%	28.6%
ややそう思う	15.4%	42.9%
どちらともいえない	61.5%	14.3%
あまりそう思わない	15.4%	14.3%
全くそう思わない	0.0%	0.0%

③指導体制による指導内容の向上に効果はあるか

選択肢	女子バレーボール	軟式野球
非常に向上した	38.5%	71.4%
やや向上した	23.1%	0.0%
どちらともいえない	30.8%	28.6%
あまり向上していない	7.7%	0.0%
全く向上していない	0.0%	0.0%

【Good：数値が高い理由 / 自由記述から見える手応え】

○「専門性」の還元と自身の学び：「専門性の高い若い指導者が来てくれることで、自分自身も新しい練習方法を知ることができる」「生徒が親しみを感じている」といった、外部指導者の専門性が現場に好影響を与えている。

○活動意欲の高い生徒への指導：「やりたくて参加している生徒なので意欲が高い」という、教える側としての手応えが、指導継続意欲（否定ゼロ）に直結している。

○指導の「自由度」の確保：「今までと変わらず指導できている」という、クラブごとの裁量権に対する満足度が、指導の質を支えている。

【More：課題となっている点 / 自由記述からの具体的注文】

△「40 名体制」による指導の限界（特に野球）：「40 名の生徒に対し土日どちらかのみで対応するのは厳しい」「A チーム・B チームに分けるなど体制を整える必要がある」と、人数過多による指導の死角が物理的な課題が挙がっている。

△事務局の「連携不足」と「連絡の遅れ」：「大会日程の連携が遅く、引率ができなかった」「事務局からの返信が遅く、現場が混乱する」といった、事務局の体制に関わる改善点が指摘されている。

△兼職兼業の教職員でも、印西NEXUSの指導者として学校施設利用のルールの不透明さが活動を不便にさせている場面がある。→指導者側の意識の転換も必要。

△小中体連や協会など大会主催者が学校の先生によって運営されているケースが多いため、地域の指導者がクラブを運営していくと、顧問会議や大会の申請等で不都合な部分が出てくる。→地域クラブ事務局が支援に各クラブに支援に入っている。

△相談窓口の周知をしていく。生徒や保護者の問合せや不満が直接指導者や顧問に向かっているケースがある。→コーディネーターの巡回や相談窓口の周知を図る。

△「備品・設備」の老朽化と予算不足：十分な練習に取り組むだけの道具が足りない。学校の備品や消耗品の借用や今後の道具や機材の購入について今後さらに検討していく。

地域展開学校実態調査アンケートの結果について

<休日を通ずることのできるようになった顧問向けアンケート> 12人回答

①負担の軽減

負担がとても軽減された	8人	66%
負担が軽減された	3人	25%
負担があまり変わらない	1人	8%
負担が増加した		
負担がとても増加した		

②時間の活用

休養・リフレッシュ	8人	66%
教材研究	2人	16%
校務	2人	16%
家族の時間	6人	50%
趣味や挑戦したいこと	2人	16%
地域活動・ボランティア	2人	16%
その他		

③ストレスの軽減

ストレスがとても軽減された	5人	41%
ストレスが軽減された	4人	33%
ストレスがあまり変わらない	3人	25%
ストレスが増加した		
ストレスがとても増加した		

○プライベートの時間を確保することができ教員自身の私生活の充実感が向上している。笑顔で教壇に立てることは教育において重要な要素になる。同時に、部活指導が減ったことによる精神的負担の減少を強く感じている意見が多く見られた。

△小中体連との連携において、大会における外部指導者の登録に関する課題や、審判として教職員としての派遣がなくなるなど、大会運営が教員の負担となり続けている現状が指摘されている。行政の立場だけではなく、大会主催者側の意向も考慮して対応していく必要がある。大会主催者に改善を求める必要もある。

<兼職兼業希望調査(小学校)> 298人回答

①印西NEXUSの指導者登録の希望について

指導者の登録を希望している	1人	0.003%
指導者の登録を検討している	17人	5.7%
他市町の地域クラブを検討している	5人	1.7%
指導者の登録を希望していない	274人	92%

②印西NEXUSの指導者登録の検討理由（19人）

家庭と仕事との両立	13人	68%
自校以外の生徒を指導することへの不安	1人	5%
地域クラブ指導に対する報酬への不安	0人	0%
兼職兼業や報酬の書類の手続きの不安	3人	16%
指導方針の統一	1人	5%

<兼職兼業希望調査(中学校)> 133人回答

①印西NEXUSの指導者登録の希望について

指導者の登録を希望している	18人	13.5%
指導者の登録を検討している	29人	21.8%
他市町の地域クラブを検討している	1人	0.8%
指導者の登録を希望していない	85人	63.9%

②印西NEXUSの指導者登録の検討理由（47人）

家庭と仕事との両立	16人	34%
自校以外の生徒を指導することへの不安	12人	25.5%
兼職兼業や報酬の書類の手続きの不安	4人	8.5%
他市町の学校へ異動した場合どうなるのか	1人	2.1%
他部活動の顧問との両立	1人	2.1%
指導者を人選をしっかりとしてほしい	1人	2.1%
地域移行の将来像が不明確なため	1人	2.1%
吹奏楽の平日と休日の指導のズレ	3人	6.3%

△家庭と仕事の両立の重要性

家庭と仕事の両立が指導者登録の検討理由として高く挙げられている。これは、部活動を含めた教員業務の負担が大きく、家族との時間を確保することが難しい。

△手続きへの不安

兼職兼業の手続きに関する不安は教員にとって障害となっており、手続きの簡略化やサポート体制の強化が求められる。

△将来のビジョンの不明確さ

地域移行の将来像や具体的な運営方法の方向性を示す必要がある。現状では不明確な点が多いため、安定した指導者登録に踏み切れない教員もいる。

地域クラブの運営にあたっては、教員の不安を解消するための具体的な情報提供やサポートが必要であり、地域クラブへの参加を促進するために、指導者の負担軽減策や報酬制度の充実が求められている。

<管理職向けアンケート>

部活動地域移行は、生徒に新たな交流の機会を提供し、教育の質向上につながる可能性があるが、地域クラブ設立については施設利用の調整やルール設定が必要になる。、
学校部活動から切り離れた形の地域クラブとして活動できる制度設計が望まれている。
教職員の負担軽減にもつながり、生徒たちにもより良い教育環境を形成するためのきっかけとしてほしい。